

国際的非暴力展実行委員会

国内外の作家による非暴力展の開催

事業目的・概要

京都市立芸術大学ギャラリーにおいて、国内外のアーティスト・作家から参加を募り、非暴力をテーマにした展覧会を開催する。地域住民や来場者に多文化共生や暴力について再認識する場を提供することで、鑑賞者やアーティスト同士の対話の創出を目指す。

今後の予定・次年度以降の事業展開

今回の国際的非暴力展 #SUM_MER_2025 は、約1,000名の来場者を得て、想定以上の成果を上げた。国際的非暴力展実行委員会は、さまざまなご意見・ご感想を踏まえ、今後も美術と社会の交差による意識進展を願って活動を続けていく。次年度は更なる発展を目標に活動を持続していく。

事業成果

本展は国内外の83作家による100点超の作品を展示し、約1,000名の方に来場いただいた。美術を通して世情を考え、意見交換する貴重な場となり、「美術と社会の交差による意識進展」に貢献した。特に判子やZINE作成が鑑賞者の目に留まり、非暴力への関心を高めた。

具体的な課題やつながりたい団体イメージ

今後の活動を継続するため、専門的な連携を強化する。具体的には、人権の多様性に関する「読書会」での書籍提供にご協力いただける団体や、大規模展示を支えた美術設置業者との連携を深める。今後の活動としては、多様性に満ちたアーティストの在留・活動に関する困難などの社会的なテーマを、美術を通して継続的に議論していく方法論の確立を目指す。